

気候変動とどう向き合うか

～琵琶湖・淀川流域を巡る治水・利水

そして自然環境保護のドラマ～

日時 2023年3月20日(月)14:00～16:40

場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階(大阪市北区中之島5-3-51)
⇒詳細は 別添ちらし参照

申込 <https://forms.gle/3ZsRQ16oE8w4jb817>

申込締切 **令和5年3月17日(金)※締切延長**



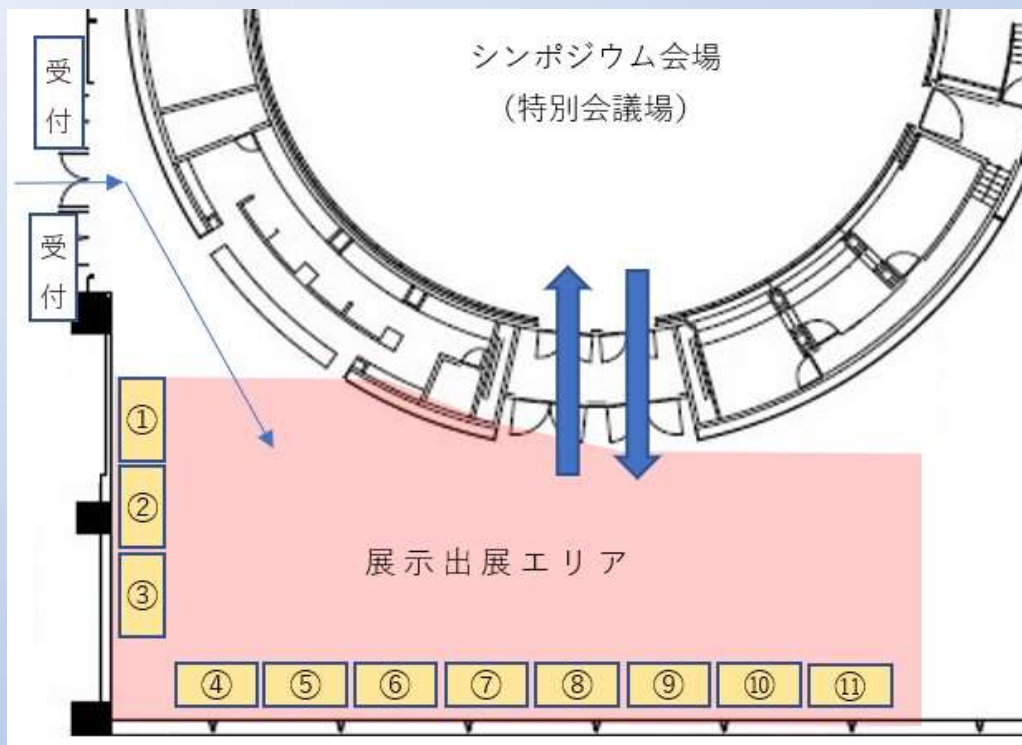
同時開催展示

「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマを紡ぐために～」

日時 2023年3月20日(月)13:00～17:00

場所 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階 ホワイエ

※入場には、「琵琶湖・淀川流域シンポジウム」への申し込みが必要です。



番号と団体名

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ① 関西広域連合 | ⑤ マザーレイクゴールズ推進委員会 |
| ②⑧⑨ NPO法人国際ボランティア学生協会 | ⑥⑦ 滋賀県 |
| ③ 琵琶湖・淀川水質保全機構 | ⑩ 水都大阪コンソーシアム |
| ④ 水資源機構 | ⑪ 2025年日本国際博覧会協会 |

主催



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

「これからの琵琶湖・淀川流域 ～このドラマを紡ぐために～」

(番号は裏面の会場図のブース位置)

① 関西広域連合



「関西から新時代をつくる！」この志のもと、関西の府県・政令市（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）が結集し、2010年に設立。広域的な行政課題に取り組んでいます。

②⑧⑨ NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA

会員約2,500人の学生中心のNPO（ボランティア団体）。社会にある様々な課題に対し、学生の熱意とパワーで挑戦しています。「オオバナミズキンバイ除去活動」「びわ湖の研究者になろうツアー」「琵琶湖湖岸清掃活動」について紹介します。

③(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構



「飲める水 遊べる水辺 次世代に」を掲げ、琵琶湖・淀川流域における水質保全に関する調査研究・啓発・活動支援事業などを行っています。機構の取組みを紹介します。

④(独)水資源機構 関西・吉野川支社



水資源機構では、これまで淀川水系の水需要に対処するために高山ダムをはじめとするダム建設や日本最大の湖を水源とする琵琶湖開発など11事業を完成させ、その管理を行っています。また現在、川上ダム建設事業及び丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備を実施しています。

⑤ マザーレイクゴールズ推進委員会



MLGsは、琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定し、いろいろなつながりを大切に活動を広げています。MLGsの取組みを紹介します。

⑥⑦ 滋賀県（琵琶湖環境部 土木交通部）

琵琶湖の生物多様性、水源林の保全等の取組みや、琵琶湖博物館などを紹介します。また、水害から命を守るために「ながす」「ためる」「とどめる」「そなえる」対策を総合的に実施する「滋賀の流域治水」政策について紹介します。



⑩ 水都大阪コンソーシアム

「水と光の首都大阪」の実現に向け、公民共通のプラットフォーム機能を有する組織として設立され、水辺のにぎわい創出等のため、様々な試みを展開しています。おおさかりバーマップの展示や水の回廊のクルーズ等をご紹介します。



⑪ (公社)2025年日本国際博覧会協会

2025年 「いのち輝く未来社会」をテーマとした大阪・関西万博を開催！



公式キャラクターの「ミyakumyakku」は、細胞と水が一つになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。
赤い部分は「細胞」で、分けたり、増えたりする。
青い部分は「清い水」で、流れるように形を変えることができる。
出生地：関西のどこかにある小さな湧水池

琵琶湖・淀川流域シンポジウム、展示を訪問します。